

# 通知エラー メッセージ

## IDS\_ACCESS\_FORBIDDEN によってアクセスがブロックされるのはなぜですか。

### 目次

#### [はじめに](#)

#### [「IDS\\_ACCESS\\_FORBIDDEN」エラーの意味](#)

### 概要

このドキュメントでは、エラーメッセージ「IDS\_ACCESS\_FORBIDDEN, BLOCK-WEBCAT」が表示されてアクセスがブロックされる理由について説明します。

## 「IDS\_ACCESS\_FORBIDDEN」エラーの意味

環境： Cisco Web セキュリティ アプライアンス ( WSA )、 AsyncOS バージョン 6.0 以降、データ フィルター有効

症状： Web サイトにファイルやドキュメントをアップロードできず、ユーザは次のメッセージを受けとります。 このエラーメッセージは、特定の Web サイトへのログイン中に表示されます。

AsyncOS バージョン 6.0 以降には、データ セキュリティ ( IDS ) フィルターと呼ばれる新しい機能が搭載されています。 IDS 機能は WBSR スコア、URL カテゴリ、ファイル サイズに基づき、特定の Web サイトのファイル アップロードをブロックする場合に役立ちます。

通知メッセージ「IDS\_ACCESS\_FORBIDDEN」は、ファイルのアップロードまたはアクセスがデータ セキュリティ ポリシー設定に基づいてブロックされたことを示しています。

さらに、「BLOCK-WEBCAT」コードは特定の URL カテゴリをブロックするよう、設定されたことを示します。

この設定は、 [GUI] -> [Security services] -> [Cisco Data Security] で行います。

以下のいずれかの方法を使用して、アクセスを許可できます。

IDS ポリシーでアクセスをモニタする

1. [GUI] -> [Web Security Manager] -> [Cisco Data Security] で設定
2. 特定の URL カテゴリを**モニタ**するように設定します
3. 変更を**送信**し、**確定**します

#### カスタム URL カテゴリを使用してアクセスを許可する

1. [GUI] -> [Web Security Manager] -> [Custom URL Categories] で設定
2. Web サイトのカスタム URL カテゴリを作成します ( example.com、.example.com など、両方のドメインを含める )
3. [GUI] -> [Web Security Manager] -> [Cisco Data Security] で設定
4. 上記のカスタム URL カテゴリを**モニタ**するように設定します
5. 変更を**送信**し、**確定**します

#### 注意点 :

AsyncOS バージョン 6.3 以降では、Web サイトも動的コンテンツ分析 ( DCA ) エンジンによって分類できるようになりました。これを検証するには、[GUI] -> [Security services] -> [Acceptable Use Controls] で、DCA が有効になっているかどうかを調べてください。

DCA が有効であれば、[サポート ポータル](#)の実際の Web サイトの分類を検証し、2 番目の方法を使用してアクセスを許可します。